市議団ニュース　第１９２号　　２０２１年１１月１４日

いきいき亀山

発行　　日本共産党亀山市議団

９月議会が終わる

大規模な埋立て計画　椋川がせき止められる？



服部こうき議員は一般質問で、静岡県熱海市で起きた盛り土の崩落による土石流で、大規模な被害が出たことを受けて盛り土問題を取り上げました。その中で、現在計画が進んでいる江ヶ室の建設残土の埋立て計画を質しました。計画の概要は、埋立て面積８，５５０㎡、最大高さ15m、埋立量約6万㎥（熱海の流出量が4万7千㎥）でかなり大規模なものです。

左の地図の通り、計画地と椋川が近接しており、地域の人たちの最大の懸念は盛り土が崩落して椋川がせき止められることです。せき止められると上流の地域で田んぼや民家が浸水被害に遭う恐れがあります。昨年４月に施行された「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」では、地域住民は説明会後に意見を提出できることや市長は、県に許可申請が出た後、意見を述べることができるとされており、地域住民から出された意見を最大限に尊重すべきだと質しました。市は「意見を尊重する」と答弁しました。

「住民の意見を尊重する」と市が答弁

この質問を聴いていた地域の方から「住民の意見を尊重するという答弁を引き出していただいたことは大きい。今日の質問を多くの市民も聴いてくれただろうし、今後の活動がやりやすくなった。」という声が寄せられました。今後、住民説明会が開かれるなど動き出しますが、すべての住民の合意がない限り進めるべきではありません。

図書館条例を否決　教育委員会の説明が不十分

図書館条例は、亀山駅前に建設中の新図書館の開館時間や職員などを定めたもので、市立図書館がある以上図書館条例は必要であり、条例を制定することには異論はありません。日本共産党議員団は、福沢みゆき議員が議案質疑を行い、服部こうき議員が一般質問でこの条例を質しました。

議論になったのは、その制定の時期と中身です。議員の質問に教育委員会が十分な説明をしなかったため、本会議での採決では、反対１０（中島、今岡、尾崎、岡本、伊藤、前田 稔、小坂、櫻井、**福沢**、**服部**の各議員）、賛成７（草川、森 英、新、豊田、森 美、鈴木、前田 耕の各議員）で否決されました。

「聞かれなかったので答えなかった」と全く不誠実な答弁

とりわけ答弁で問題になったのは、図書館の駐車料金についてで、地下駐車場と借り上げをする民間駐車場があり、料金が違うのにそれを説明しなかったのです。民間駐車場の料金が無料だということを議会は新聞報道で初めて知りました。本会議で何人かの議員が駐車料金を質し、説明する機会は何度もあったのに「民間の料金は無料」と答弁せずに、「聞かれなかったから答えなかった」という全く不誠実な答弁でした。

規則に委ねる内容が未定で改正を急ぐ理由がない

また、条例が実質的に動く施行日を「公布の日から起算して１年６月を超えない範囲内で規則で定める」と長い期間、先送りをしており、今議会で条例を改正しなければ支障が出るということではありません。「協議中」とされている内容が固まってからの提案でも何ら支障はないのです。規則に委ねる内容が未定であり、今、どうしても改正しなければならないものではないという理由でこの条例の全部改正には反対しました。

この市議団ニュース「いきいき亀山」は政務活動費を使って発行しています

貯金が枯渇の危機　これで「財政の健全化を確保」？



一般会計の決算について福沢みゆき議員は代表質疑で、服部こうき議員は総括質疑でその評価を質しました。櫻井市長は現況報告で決算について「財政の健全化を確保」したと述べましたが、それは表に出ている数字だけで裏に隠れた数字を見ると財政状況が深刻になっていることがわかります（右の写真は老朽化が進む亀中体育館）。

まず、財政調整基金（貯金）が２０１４年度末の４４億５千万円から２０２０年度末には２３億８千万円にまで半減し、今年度末には１９億円ほどになり、目標としている２０億円を割り込む事態が予想されます。

また、「真の自治体の実力」を示すのが「実質単年度収支」だといわれますが、２０１４年度に赤字になって以降、昨年度まで７年連続で赤字が続いているのです。これは予算編成時に取り崩す財政調整基金額が積立額より多いために起こるのです。福沢議員の代表質疑で総合政策部次長は、「しばらくは（実質単年度収支は）マイナス（赤字）が続く」と見通しを答弁しました。

老朽化した学校・保育園などの公共施設の建て替えが急務



来年度から総合計画後期基本計画がスタートしますが、新たな施策も盛り込まれる予定なので予算編成はますます厳しくなります。さらに新庁舎建設や老朽化した学校・保育園などの公共施設の建て替え、ごみ処理施設（左の写真）の更新など多額の予算が必要な事業が目白押しです。

その上、リニア新幹線亀山駅前の整備には、リニア岐阜県駅の中津川市（４００億円でまちづくり）を参考にすれば、数百億円規模の大事業となるのです。

市民生活に欠かせない予算は優先的に確保すること

党議員団は、財政状況に関係なく市民生活に欠かせない予算を優先的に確保し、リニア駅前整備などの不要不急の予算をなくし、市民目線で無駄と言える予算を削減するなどこれまでの財政運営を大きく変える必要があることを指摘し、この決算の認定には反対しました。

市立医療センター会計年度任用職員看護師の時給が低い

現在市立医療センターに看護師として勤務する会計年度任用職員の時給は、病棟の看護師は１,５５０円、外来の看護師が１,２５０円です。

福沢みゆき議員は、同じ国家資格の中で勤務場所による賃金差別をしているのは問題であること、特に外来看護師の１，２５０円という時給は低すぎることを指摘し、改善を求めました。市は、医療センターを含めた県下７つの公立病院の中で、病棟の１,５５０円だけを例に挙げ、２番目に高い金額であり、会計年度任用職員の時給が特に低いという認識は持っていないとの答弁でした。

「検討したい」と統括官が答弁

福沢議員は外来看護師の時給の低さは専門性の軽視、改善を求めるようさらに求めました。統括官は、「今回新型コロナウイルス感染症の状況の中で、医師や看護師などの時給単価が大幅にアップしていることも踏まえ、今後他市の公立病院等の状況等を注視して、経営状態も見た上で検討をしたい。」と答弁しました。

福沢議員は真剣な検討を求め質問を終えました。

市議会映像ネット配信

市政や暮らしの相談、ご意見は

服部こうき　電話、FAX　82－3646　メール　kouki.giin@gmail.com

福沢みゆき　電話、FAX　83－2938　メール　pettantann@i.softbank.jp

市議団ホームページ　「共産党　亀山」　で検索を